



あらゆる人と共に...



12月号
2025
vol.185

新体制\一般質問\9月定例会・10月臨時会の結果\決算審査



※表紙紹介は裏表紙をご覧ください。

武ちゃんの 第3話 三田ごぼれ話

三田駅から有馬温泉までを 結ぶ国鉄があった？

大正時代から昭和のはじめ頃、三田駅から有馬温泉までを結ぶ鉄道があったことをご存じでしょうか。

鉄道省(のちの国鉄)が運営する単線の「有馬線」で古くからの温泉街である有馬温泉に初めて乗り入れた鉄道路線でした。路線距離は12.2kmで、三田―塩田―新道場―有馬口―有馬の5つの駅を、およそ40分かけて蒸気機関車が走っていました。この有馬線を利用して多くの人が有馬温泉を訪れましたが、神戸有馬電気鉄道(現・神戸電鉄)の有馬線が開業して競合するようになり、更に太平洋戦争中の1943(昭和18)年には温泉地への行楽路線は不要であるとする国の方針で運行休止にされそのまま事実上廃線に追い込まれたのです。

現在、JR三田駅からJR道場間の線路が太阳光パネルが帯状に並びポイントを見ることが出来ます。それが温泉へ向かう有馬線の廃線跡です。

元三田文化協会会長 山口武宏

国鉄有馬線開通記念式典 1915(大正4)年4月16日

12月定例会は11月27日に開会しました

11/27(木)	10:00~	本会議
11/28(金)	10:00~	予算決算常任委員会 経営政策分科会
	終了後	経営政策常任委員会
12/ 1(月)	10:00~	予算決算常任委員会 福祉教育分科会
	終了後	福祉教育常任委員会
12/ 2(火)	10:00~	予算決算常任委員会 生活地域分科会
	終了後	生活地域常任委員会
12/ 4(木)	10:00~	予算決算常任委員会 討論・表決
12/12(金)	10:00~	本会議 一般質問
12/15(月)	10:00~	本会議 一般質問
12/16(火)	10:00~	本会議 一般質問(予備日)
12/23(火)	10:00~	本会議 委員会審査報告・質疑・討論・表決

*上記予定は、変更する場合があります。最新の情報はホームページでご確認ください。本会議は市役所6階議場で、常任委員会は6階委員会室で開催予定です。

市議会 Facebookを チェック!

議会の情報は

本会議、委員会の日程や市議会からのお知らせなどを掲載しています。ぜひご覧ください。

フェイスブックは右記二次元コードからもご覧いただけます。

伺います さんだ未来トーク

議員と意見交換しませんか?

★詳細はホームページをご覧ください。

表紙紹介 三田国際マスタースマラソン

三田の冬の風物詩が今年も開催されます。ハーフマラソンは山間部を生かした走りごたえのある21.0975kmのコース、ファンランは小学生以上なら誰でも参加できる2kmのコースとなっています。走る人も応援する人も一緒に寒い三田の冬を熱く盛り上げましょう。

三田市在住のイラストレーター、宮館みえりさんに描いていただきました。

三田市議会だより 2025.12 vol.185

〒669-1595 三田市三輪2-1-1
TEL.079-559-5162 FAX.079-564-2992

✉ gikai_u@city.sanda.lg.jp

市議会に関することは何でもお気軽にご意見をお寄せください。

https://www.city.sanda.lg.jp/shisei_joho/gikai/index.html

広報委員会 (10月24日から新体制になりました)

[委員長] 大西雅子 [副委員長] 福本愛
[委員] 大西憲司 假屋浩司 水元サユミ 小山裕久

広報委員会 (昨年から1年間担当しました)

[委員長] 肥後淳三 [副委員長] 水元サユミ
[委員] 坪之内幸司 福本愛 福田佳則 小山裕久

☆☆ SNSで議会情報を発信中! ☆☆

You Tube

本会議の録画映像を公開しています。

Facebook

市議会の日程やお知らせなどを投稿しています。



新正副議長 新委員会体制

議長 肥後 淳三 (市民とともに)

市の人口減少が進む中、新病院等の建設に伴う大型投資、さらに公共施設の適正な利活用が課題となり、向こう10年間の財政収支の改善案が示されています。

二元代表制である議会の存在意義は、市民生活に直結する議案等を審議する監視機能の発揮です。私たち議員は、市民の皆さまの安全・安心と幸せが実感できるまちに近づけるために「働く議会・信頼される議会」を目指してまいります。皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

副議長 大西 雅子 (公明党)

近年、少子高齢化の進行や物価高騰など、私たちを取り巻く社会情勢が大きく変化している中で、議会は市民生活を守り未来を見据えた施策をしっかりと議論し、実行に結び付けていく役割があります。

市民の皆さまの声を真摯に受け止め、行政に対し適切な提言と監視を行うことで、信頼される議会運営を目指します。議員の皆さまにご協力を賜りながら、全力で肥後議長を支え、議会の活性化及び信頼される議会の実現のために尽力してまいります。



会派名簿	創 志 会	幸田 安司、今北 義明、小杉 崇浩、坪之内 幸司、福田 秀章、假屋 浩司
	さんだの未来	佐貫 尚子、中田 哲、関口 正人、小山 裕久
	市民とともに	橋本 維文、大西 憲司、山崎 丈、肥後 淳三
	公 明 党	福田 佳則、村手 秀樹、大西 雅子
	日本共産党三田市議団	長尾 明憲、水元 サユミ、木村 雅人
	日本維新の会 三田	福本 愛、長谷川 良果

経営政策常任委員会

まちづくりの基本計画、広報広聴、財政、税、防災、防犯、行政委員会、消防、市民病院等

◎委員長 佐貫 尚子 (さんだの未来)

◎副委員長 幸田 安司 (創志会)

委員 坪之内 幸司 (創志会)

委員 山崎 丈 (市民とともに)

委員 村手 秀樹 (公明党)

委員 水元 サユミ (日本共産党三田市議団)

委員 関口 正人 (さんだの未来)

福祉教育常任委員会

社会福祉事業、子育て支援、青少年の健全育成、健康増進、保健医療、人権推進、学校教育等

◎委員長 小杉 崇浩 (創志会)

◎副委員長 福田 佳則 (公明党)

委員 長谷川 良果 (日本維新の会 三田)

委員 大西 憲司 (市民とともに)

委員 木村 雅人 (日本共産党三田市議団)

委員 小山 裕久 (さんだの未来)

委員 福田 秀章 (創志会)

生活地域常任委員会

市民との協働、コミュニティ、生涯学習、産業及び農林畜産業、生活環境、都市計画、公共交通、上下水道、道路等

◎委員長 今北 義明 (創志会)

◎副委員長 長尾 明憲 (日本共産党三田市議団)

委員 假屋 浩司 (創志会)

委員 橋本 維文 (市民とともに)

委員 福本 愛 (日本維新の会 三田)

委員 中田 哲 (さんだの未来)

委員 大西 雅子 (公明党)

予算決算常任委員会

市の予算と決算の審査を行います。

【委員長】 幸田 安司

【副委員長】 長尾 明憲

【委員】 議長を除く全議員

議会運営委員会

議会の円滑な運営と議事の効率的な進行を図るために設置しています。

【委員長】 福田 秀章

【副委員長】 関口 正人

【委員】 橋本 維文、福田 佳則、小杉 崇浩、長尾 明憲

議会BCP策定委員会

市議会BCP(業務継続計画)の策定に係る調査・研究・検討を行います。

【委員長】 今北 義明

【副委員長】 長尾 明憲

【委員】 山崎 丈、幸田 安司、大西 雅子、佐貫 尚子

議会改革推進会議

議会基本条例に基づく各種議会改革事項について協議します。

【委員長】 長尾 明憲

【副委員長】 中田 哲

【委員】 長谷川 良果、坪之内 幸司、山崎 丈、福田 佳則

広報委員会

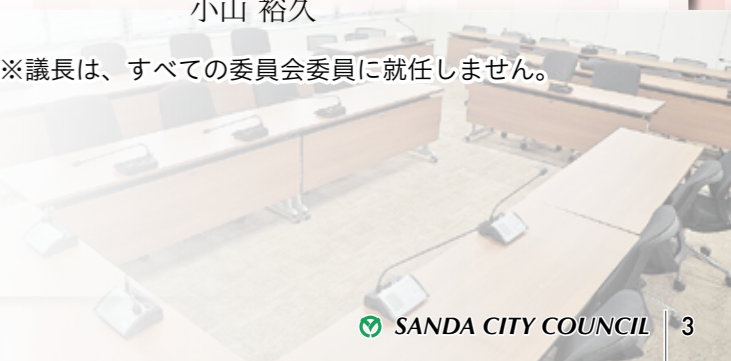
市議会だより「つなぐ」の編集ほか議会広報のあり方について検討します。

【委員長】 大西 雅子

【副委員長】 福本 愛

【委員】 大西 憲司、假屋 浩司、水元 サユミ、小山 裕久

※議長は、すべての委員会委員に就任しません。



質問しつもん

まちづくりや暮らしに関する制度、市が行う事業の執行状況や将来の方針について、議員が質問を通して市の見解を求め、主張・提言・指摘を行います。

9月定例会では、16人の議員が一般質問（個人質問）をしました。質問時間は、答弁の時間を含めて1人40分です。



三田市議会会議録 検索



三田市議会ユーチューブチャンネル 検索



※本会議の録画映像を公開しています。

村手 秀樹 議員

公明党



今北 義明 議員

創志会



平和教育

(仮称) 三田市デジタル平和資料館の創設を

議員 解体された忠魂堂の遺影等の所蔵品や三田空襲をはじめとする戦争に関する貴重な資料の数々を、戦争の悲惨さや非人道性を訴える平和教育資料としてデジタル化して集積し、(仮称)三田市デジタル平和資料館を創設してはどうか。

デジタル平和資料のポータルサイト構築を検討

市 市内の戦争にかかる資料は、さまざまな個人・団体で管理されており、資料の劣化や散逸が今後、大きな課題となってくる。デジタルでの平和資料の収集や保存・公開は、次世代への継承に有効であり、ポータルサイトの構築などを検討したい。(外岡健康福祉部長)

他の質問 伝統工芸の保護と発展への取組について 他

財政

議論がない施策が多く記載されているのはなぜか

議員 三田市未来への財政ロードマップ（案）は、これまでの方針と大きく変わっているものがある。議会との議論も市民への説明もこれから行うことになるが、市民の意見を真摯に受け止め、施策の変更も視野に入れるべきと考える。市の見解を伺う。

検討や議論を経て具体的な取組へつなげる

市 人口減少や少子高齢化が進み、厳しい財政状況が見込まれる中、考え得る取組の全体像を整理し、議論の土台となる案として示した。市・議会・市民が同じ課題認識を持ち、今後の検討や議論を経て、具体的な取組へとつなげていく。(櫻井財務部長)

他の質問 市民病院関連の組織について 他

長谷川 良果 議員

日本維新の会 三田



子育て支援

家事代行支援で家族にゆとりある環境づくりを

議員 掃除・洗濯・料理等を担う家事代行は、幅広い世帯に有効であり、特に母親の家事負担の軽減が重要である。市も幅広い世帯が利用しやすい仕組みを検討し、市民の暮らしやすさと子育て世帯のウェルビーイング向上につなげてはどうか。

優先順位を検討し、支援に取り組んでいく

市 家事代行は、働く子育て世帯の負担軽減に有効であるが、人材確保や財政負担の課題から新規事業の創設は難しい。現在は産後等ヘルパー派遣や子育て世帯訪問支援を行っており、今後も限られた財源の中で優先順位を検討し、支援に取り組む。(松本子ども・未来部長)

他の質問 企業版ふるさと納税について 他



*ウェルビーイング：身体的・精神的・社会的に満たされた幸福な状態のこと

木村 雅人 議員

日本共産党三田市議員



財政

まずは市の努力により財政を立て直すべき

議員 三田市未来への財政ロードマップ（案）は、財政危機回避のため責任のない市民にいきなり多大な負担を強いているが、順番が違うのでは。最大の原因である市民病院の再編統合を市長公約どおり撤回するなど、まずは市の努力により財政を立て直すべきでは。

徹底した内部事務等の改革を前提としている

市 当然、徹底した内部事務等の改革に取り組むことを前提としている。これ以上決断と対処を先送りすれば、代償は将来世代が払うことになる。サービス等の変化はあったとしても実質的な影響が緩和できるよう配慮する。なお、市民病院の再編統合は進める必要がある。(田村市長)

他の質問 市民病院の再編統合について

假屋 浩司 議員

創志会



地域活動

地域を支える各種団体への支援を

議員 市内には多様な地域団体があり、青年団では行事運営や伝統芸能の継承、SNSでの魅力発信を行うなど住民交流や若者定着につながっている。将来の基盤づくりに欠かせない地域活動をどのように支援していくのか。

地域の実情に応じた活動を後押ししていく

市 地域団体では、女性や現役・若者世代が就労と地域活動を両立できるよう、役員の負担軽減が求められ、オンライン会議の導入や組織・役職のスリム化が行われている。今後もふるさと地域交付金を継続交付し、用途や運用の柔軟性を確保しながら地域の実情に応じた活動を後押しする。(横溝市民生活部長)

他の質問 災害対策について 他

福本 愛 議員

日本維新の会 三田



財政

市政運営の透明性と説明責任の向上を

議員 三田市未来への財政ロードマップ（案）について、各取組の根拠となるデータの提示が不十分では。検討にあたっての前提として必要なデータは、十分に収集・分析されているのか。これまで以上に市民への説明責任が求められると考えるが、市の見解を伺う。

データ等の客観的事実に基づいた説明が重要

市 市民の意見を含まざる根拠となるデータの収集・分析が不可欠と認識している。市民の意見や提案を真摯に受け止め実効性のある施策へブラッシュアップした上で、できる限り多くの理解を得て、進めていくべきと考えている。(田村市長)

他の質問 庁内データ活用体制の整備・強化について 他



橋本 維文 議員
市民とともに



財政

三田市未来への財政ロードマップ(案)は決定事項か

議員 財政健全化の取組自体は否定しないが、市民生活に直接影響を及ぼす可能性のある内容を含んでおり、策定過程で関係団体や市民との調整がどこまで図られてきたのか疑問である。各項目に挙げられている内容は決定事項なのか。

丁寧に進めていく、決定事項ではない

市 各取組の推進にあたっては、市民をはじめ多様な関係団体や事業者、職員の理解と実践が不可欠である。丁寧に説明し、意見や提案を真摯に受け止め、信頼関係を築きながら進めていくべきものと考えている。また、実施が決定したものではない。(田村市長)

他の質問 地域活動の支援拡充について 他

山崎 丈 議員
市民とともに



公共交通

路線バス休止後の通学や移動手段は

議員 路線バスの休止により、通学、スーパーや駅までの交通手段が心配されている。休止後のスクールバスや地域内交通の維持確保をどのように進めるのか。

路線休止地域の特性に応じた対応を検討

市 通学には、市のスクールバスを運行している。路線休止等が発生する場合は、関係者や地域住民と対話し、それぞれの特性に応じた対応を検討する。公共交通維持のため、一人でも多くの利用が大事であり、イベントの開催や市政出前講座等の啓発活動実施など、持続可能な公共交通ネットワークの形成に向け取組を継続する。(田村市長)

他の質問 小中学校の教育環境について 他

坪之内 幸司 議員
創志会



有害鳥獣対策

有害鳥獣被害対策の位置付けと取組は

議員 有害鳥獣被害対策を耕作放棄地対策の柱の一つとして推進する考えはあるか。また、防除柵や捕獲活動等の国の制度を補完する市独自の取組について、条件緩和や補助率を上げるなど使いやすい制度に変えるべきでは。

耕作放棄防止対策として効果的な取組が必要

市 捕獲活動と防除対策による複合的な対策を実施しているが、地域計画において10年後に営農継続困難とされる農地が多い地域は、耕作放棄地対策として特に積極的に取り組む必要がある。また、防除柵設置補助等の市独自補助は、ニーズや費用対効果を検証し、条件緩和等、改善に向け検討を進める。

(辻下産業振興部長)

他の質問 特定外来生物対策について 他

関口 正人 議員
さんの未来



市政

市長の市政運営の振り返りと今後の方針は

議員 就任してからの2年間、病院の再編統合問題による整備時期の遅れに伴う整備費の高騰など、さまざまな課題もあった。そのような中で、この2年の市政運営をどう評価し、今後の市政運営方針をどのように考えているか。

子どもたちにとって誇れる三田を創り上げる

市 この2年間「市民本位のまちづくり」を進めるため、先送りされていた課題の解決に取り組んできた。今後も、移住定住施策の充実、シティセールスの強化、市内経済の活性化に資する観光施策に特に力を入れ、子どもたちにとって誇れる三田を創り上げていきたい。

(田村市長)

他の質問 三田市の県立高校再編への対応について 他

水元 サユミ 議員
日本共産党三田市議団



公的責任

公民連携においても全ての情報を出すべきでは

議員 公民連携先進都市を目指すことで市民が置き去りになるのではないかと。民間は営利を求めため情報開示が制限されるが、公の役割は営利を目的としてはいけない。情報開示は企業優先ではなく、市民のことを考え全ての情報を出すべきでは。

市民への説明を丁寧にしていく

市 情報提供の時期や範囲等において制約はあるが、適切な審議や議決への配慮を相手方に求めている。市の課題を共有する先に公民連携があり、主導はあくまでも市にある。市民に対しての説明は当然であり、丁寧にしていくべきと考える。(田村市長)

他の質問 幼稚園・保育所の認定こども園化や再編、小中学校の再編が財源ベースになった問題について

中田 哲 議員
さんの未来



市政

度重なる方針転換についての誠実な説明を

議員 市民病院再編・学校再編等の議論を中断後、方針を再度転換し、結局当初の方針に戻るまで大きな期間的損失があったが、方針転換についての説明や反省どころか、停滞していた市政を自分が進めているという発言が見られる。これ以上の分断を防ぐため誠実な説明を求めたい。

判断の理由や経緯を説明していきたい

市 市民本位のまちづくりを実現すべく、あらゆる場で情報発信と対話に努めてきたが、これを理由に現市政のすべてを正当化するつもりはない。これからも、政策判断の理由や経緯について十分に誠意をもって説明していきたい。(田村市長)

他の質問 市内事業者の課題について

長尾 明憲 議員
日本共産党三田市議団



市民病院

市の都合による職員の分限免職は問題

議員 市民病院が兵庫県済生会に運営を移すために病院職員が分限免職される。なぜ、すでに雇用している人に対し試験を行い20名しか採用しないのか。12名が分限免職となるが、市の都合で合理的な理由はなく、全員の転任を受け入れるべきでは。

試験実施や受け入れ人数設定はやむを得ない

市 転任の受け入れ人数は、現在の年齢構成及び将来にわたる人件費を考慮した定員適正化計画に基づき、最大限確保可能な人数にやむを得ず上限を設定したものである。また、選考については地方公務員法の適切な能力の実証に基づく合否の決定で、必要な対応であった。(西尾総務部長)

他の質問 フラワータウン市民センターについて 他



大西 憲司 議員
市民とともに



大西 雅子 議員
公明党



環境

リチウムイオン電池の廃棄、法規制後の対応は

議員 全国各地の自治体で、リチウムイオン電池が要因のごみ焼却施設の火災などが大きな問題となっている。令和8年4月から事業者による回収が義務化されるが、事業者だけの対応では難しく、回収場所の増設や市民への周知が必要では。

市役所本庁舎に回収場所の設置を進める

市 事業者の回収場所の周知に加え、市役所本庁舎に回収場所の設置を進める。また、電池内蔵機器の安全な廃棄方法や事業者の回収対象外品の廃棄相談、クリーンセンターへの持ち込み等の周知を進めるとともに、安全で適正な作業に努めていく。(横溝市民生活部長)

他の質問 有害鳥獣への対応について 他

肥後 淳三 議員
市民とともに



雇用創出

サテライトオフィス等の誘致で雇用創出を

議員 今後、公共施設マネジメント計画により公共施設に余裕が生まれるが、空いた施設を活用し、民間力を生かしたサテライトオフィス等を誘致するなど、若者や女性の新たな雇用の創出に取り組んではどうか。

若者や女性に選ばれるまちの実現に向け検討

市 若者や女性に選ばれるまちになるためには、住む場所と働く場所の双方の魅力が必要である。公共施設の跡地利用は、地域の立地条件やまちづくりの方向性を踏まえ、民間資金やノウハウの活用を念頭に、サテライトオフィス等の誘致も含め、地域活力の向上に寄与する機能を検討する。(西田副市長)

他の質問 三田市未来への財政ロードマップ(案)について 他

健康

健康を保持する体づくりへの取組を

議員 健康意識の低い人に向け、医療費抑制や健康的な生活の保持につながる予防医療が浸透するよう、SIB手法等を活用した取組が必要では。また、若年女性の痩せや若者の健康・医療への意識の低さから起こる課題もあり、若年層に向けた健康づくりの取組も必要では。

予防医療や健康への意識づくりに取り組む

市 健康意識が低い年齢層への行動のきっかけづくりが大切であり、議員提案のSIB手法の調査研究を進める。また、プレコンセプションケアへの理解を深め、若年期から積極的に健康づくりに取り組めるよう進める。

(外岡健康福祉部長)

他の質問 三田市の魅力を大きくアピールする取組について 他



説明
*SIB(ソーシャル・インパクト・ボンド):民間資金を活用して事業を実施し、事業成果を支払いの原資とすること
*プレコンセプションケア:性や妊娠に関する正しい知識を身に付け健康管理を行うよう促すこと



令和7年 9月定例会の結果
9月1日~9月22日(会期:22日間)

市長提出議案	26件
議員提出議案	2件
請願	8件
陳情	1件



全議員が賛成した議案・請願

予算	一般会計補正予算(第3号) など予算案件2件(うち1件は専決報告)
条例	水道事業給水条例の一部改正 など条例案件8件
その他	損害賠償額の決定 など事件決議2件 刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書の提出 など議員提出議案2件
請願	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度を堅持するための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願 請願1件

議会内容等の詳細は、三田市議会ホームページの「審議予定・結果」をご覧ください。

全議員が継続審査とした議案・請願

決算認定	令和6年度一般会計歳入歳出決算認定 など認定案件9件
請願	市民病院の職員全員の分限免職回避を求める請願 請願1件

賛否が分かれた議案・請願(福田秀章議員は、議長のため表決に加わりません)

賛成:○ 反対:×

件名	議員名														結果								
	創志会		さんだの未来		市民とともに		公明党		日本共産党三田市団		日本維新の会三田												
	幸田安司	今北義明	小杉崇浩	坪之内幸司	假屋浩司	佐貫尚子	中田哲	関口正人	小山裕久	肥後淳三	橋本維文	山崎文	大西憲司	大西雅子	福田佳則	村手秀樹	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	福本愛	長谷川良果		
令和7年度一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決
令和7年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成17人 反対4人 可決
令和7年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決
令和7年度市民病院事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 可決
令和7年度一般会計補正予算(第5号)	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成10人 反対11人 否決	
市役所の開庁時間の短縮を元の時間に戻すことを求める請願(閉会中の継続審査に付することについて)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成17人 反対4人 継続審査	
フラワータウン市民センターを現在地で残し充実を求める請願	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成11人 反対10人 採択	
新病院整備費の高騰する建設費や関連事業を含めた見込総額を示すことを求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択	
市長の報酬と退職金の見直しを求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	賛成3人 反対18人 不採択	
幼稚園、保育所、学校の統廃合を一方的に行わないことを求める請願(閉会中の継続審査に付することについて)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 継続審査	
ごみ処理手数料の導入をしないことを求める請願(閉会中の継続審査に付することについて)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	賛成18人 反対3人 継続審査	

上表の賛否の分かれた議案5件及び請願6件、また、全会一致の「市民病院の職員全員の分限免職回避を求める請願(閉会中の継続審査に付すること)」について、討論を行いました。

※「議案第82号 令和7年度一般会計補正予算(第5号)」の詳細は、10ページをご覧ください。

フラワータウン市民センター移転関連補正予算案を否決

フラワータウン市民センター等を新商業施設内へ移転する計画に関連した「議案第82号 令和7年度一般会計補正予算(第5号)」について、採決の結果、賛成少数で否決されました。昭和51年以来、49年ぶりの予算議案の否決となりました。

9/1 本会議(第1日)

議案第82号が追加提案され、市長提案理由説明が行われました。長尾議員・中田議員・今北議員より、議案に対する総括質疑が行われた後、予算決算常任委員会へ付託されました。

議案第82号 令和7年度一般会計補正予算(第5号)の内容

フラワータウン市民センター地区に新たな魅力を創出するため、フロア88跡地に整備する商業施設に市民センター機能と多世代交流館機能を集約した新公共施設を整備するものなど

総括質疑の内容

十分な市民意見の聴取や議会での議論がない中なぜ移転ありきの提案なのか。議会へのこれまでの報告内容と提案内容等が変わった理由は。財政効果の根拠や、移転決定に至るまでの経緯は。など

9/4~9/5・9/9 予算決算常任委員会(生活地域分科会・全体会)での質疑

- 議** 民間業者が関わり情報開示に限界があることはやむを得ないものの、議会や市民との合意形成が第一である。この間の進め方や事業内容の見解は。
- 市** 情報開示は可能な範囲で行ってきた。複合化によってより魅力ある施設となり、地区の活性化や利便性の向上、にぎわい創出が期待でき、公共施設マネジメントの観点からも有益であると判断した。
- 議** イオン(株)との包括連携協定の効力や市民センターの継続性は。
- 市** 集客や活性化の観点から双方にメリットがあり、法的・社会的責任が発生するため撤退の抑制になりうる。
- 議** 財政収支見通しとフラワータウン再生ビジョンのどちらを軸とした計画か。
- 市** フラワータウン活性化を目指すための事業であり、副次的に財政効果にも寄与する。新商業施設との統合で新たな拠点となりうる機会であり、限られた財源の中で目指すべきまちの姿を実現できるものとなる。
- 議** 議論が尽くされていないにもかかわらず、なぜ上程したのか。
- 市** 新商業施設の開業時期を考慮すると最適なスケジュールであり、今後、改めて市民へ説明する機会を設けていきたい。など

9/10 予算決算常任委員会(全体会)での審査

自由討議の後に、討論・採決を行った結果、可否同数となり、委員長裁決を行った結果、賛成少数で原案否決となりました。

反対討論

- 議論の進め方や市民への十分な説明が行われていない点、複合化ありきで決定していない事項を基に予算が計上されている点など多くの問題がある
- 財政負担増、市民との対話の不足、現施設と比較して学びや文化活動のスペースが縮小するなど課題も多く、駅ビルや学校再編後の跡地利用など他の選択肢もある
- 財政ロードマップ(案)の方向性と矛盾しており、市民生活を守り持続可能な財政運営を確立するためには、現施設の改修活用を含め多角的に検討し、議会との十分な議論をすべき
- 十分な議論が尽くされておらず、一度立ち止まってフラワータウン再生の本質的な課題に立ち返り、必要な具体策を改めて議論する必要がある など

賛成討論

- 今後、市民の意見を積極的に取り入れ、快適な市民センター機能等を目指し、設計段階で柔軟に変更していく方針を確認でき、真摯に取り組む職員の意欲と本気度を信じていたい
- 今後の公共施設のあり方は重要な課題であり、フラワータウン再生を目指す上で、立ち止まらず計画を進めるべき
- フラワータウンの将来を考えると、この機会を先延ばしにすれば市民にとって大きな損失につながる可能性があり、今後さらなる高齢化や人口減少の深刻化が予想される中、市民とともに考えながら議論を重ね、前に進める決断をすべき など

9/22 本会議(第5日)の経過

佐貫予算決算常任委員会委員長より、委員会での審査経過と結果報告が行われました。その後、福本議員・大西議員による賛成討論および今北議員・橋本議員・長尾議員・中田議員による反対討論において、それぞれ意見表明がなされました。採決を行った結果、賛成10・反対11の賛成少数により否決となりました。(各議員の賛否は9ページをご覧ください。)

詳しくはこちら

令和7年

10月臨時会の結果

10月20日~10月24日(会期:5日間)

市長提出議案 12件
(うち9件は9月定例会の継続審査分)



全議員が賛成した議案

- 決算認定** 令和6年度公営墓地整備事業特別会計歳入歳出決算認定 など認定案件6件
- 条例** 市の組織及びその事務管理に関する条例の一部改正 条例案件1件
- その他** 令和6年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分 など事件決議2件

賛否が分かれた議案(福田秀章議員は、議長のため表決に加わりません)

賛成:○ 反対:× 欠席:欠

議員名	創志会		さんだの未来		市民とともに		公明党		日本共産党 三田市議団		日本維新の会 三田		結果											
	幸田安司	今北義明	小杉崇浩	坪之内幸司	假屋浩司	佐貫尚子	中田哲	関口正人	小山裕久	肥後淳三	橋本維文	山崎丈		大西憲司	大西雅子	福田佳則	村手秀樹	長尾明憲	水元サユミ	木村雅人	福本愛	長谷川良果		
決算認定	令和6年度一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対2人 欠席1人 認定
	令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対2人 欠席1人 認定
	令和6年度市民病院事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成18人 反対2人 欠席1人 認定

賛否が分かれた議案

- 認定第1号 令和6年度一般会計歳入歳出決算認定について
- 認定第2号 令和6年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 認定第7号 令和6年度市民病院事業会計決算認定について



内容 令和6年度決算を認定するもの

反対討論

認定第1号について、解放学級事業は、市が差別を受けなければならない地域はどこにも存在しないとしながら地域を限定していることは問題である。市民病院の再編統合に関する費用は、総事業費が利息分を含め661億円となることや、令和16年度までの10年間で93億円の収支不足が発生する見込みであることから財政圧迫を招くことは明らかであり、さまざまな市民サービスのカットも検討される中、一度立ち止まり、統合の是非を市民に問うべきであるため、反対。

認定第2号について、財政調整基金繰入金1億387万円を使用しておらず、物価高騰で市民生活が苦しい中での国保税引き上げには反対。

認定第7号について、統合そのものの問題に加え財政的な問題が明らかとなった今、統合を進めるべきではない。また、債務負担行為として指定管理費17億1,000万円を計上しているが、分限免職の問題もあり、職員を犠牲にして指定管理者制度へ移行すべきでないため、反対。

(日本共産党三田市議団 長尾明憲)

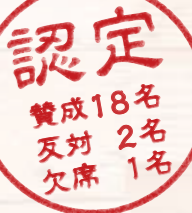
賛成討論

認定第1号について、解放学級事業は、あらゆる差別の解消に向けた学習活動として継続した取組が必要。

認定第1号及び認定第7号の市民病院の再編統合に関する決算について、新病院整備事業は、市民の命を将来にわたって守り抜くために必要不可欠であり、救急医療を中心とする急性期医療は必ず堅持し、充実させなければならない。また、現市民病院跡地活用についても市民が安心して医療を受けられる体制を構築するための取組を進めるべきであり、賛成。

認定第2号について、当初予算では、財政調整基金繰入金として1億387万円を計上し、被保険者の急激な負担増とならないような編成を行い、結果的に黒字となり不要となったものの、難しい予算編成においても医療を取り巻く環境を踏まえ、保険税率の県下統一に向け、急激な保険税率の上昇とならないよう、財政調整基金を効果的に活用しているため、賛成。

(市民とともに 山崎丈)



市のお金の使い方をCHECK!



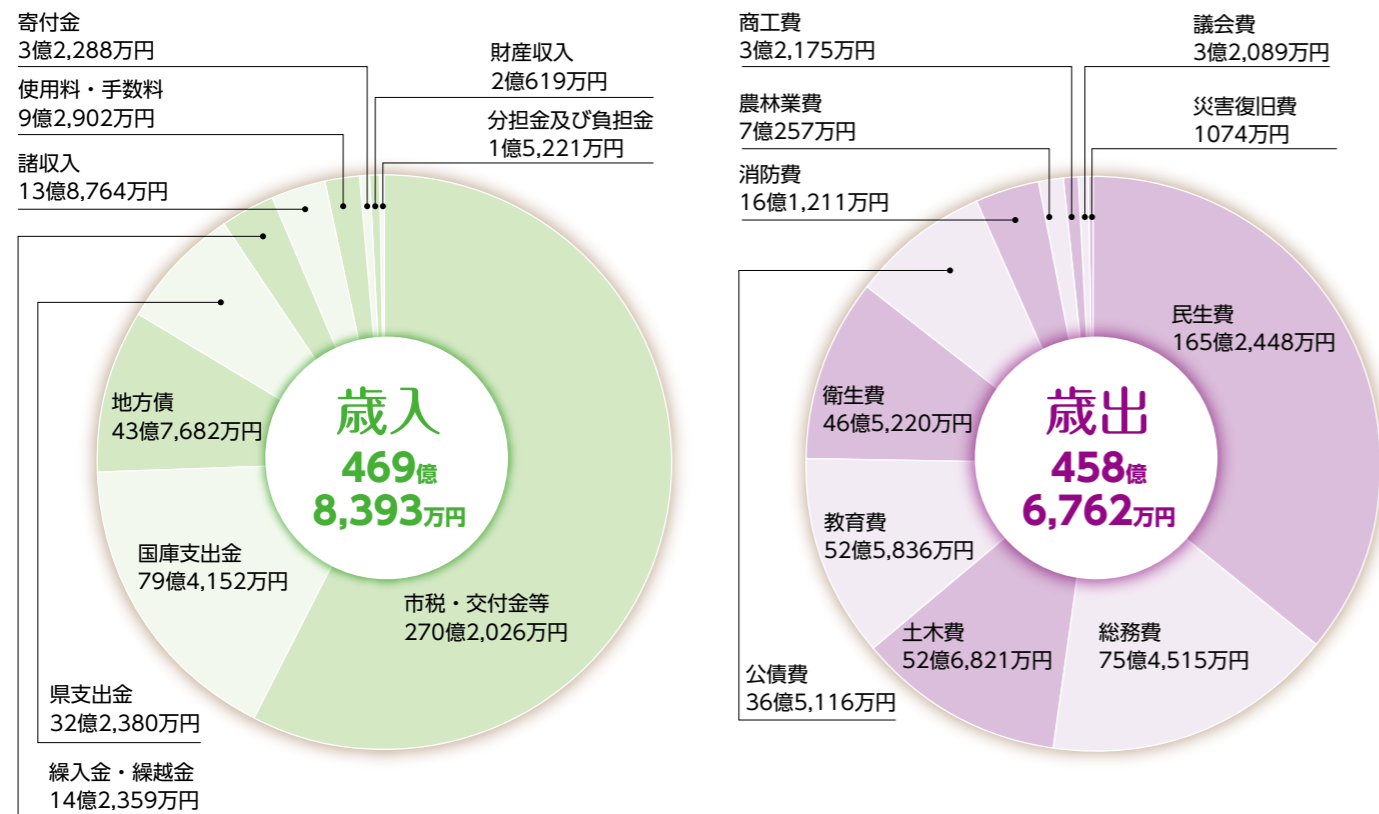
令和6年度 決算を審査しました

市の予算が適正に執行されたかどうか、また、各事業が適正かつ効果的に行われているかどうかを審査する予算決算常任委員会を9月24日から26日、29日から30日に開催しました。

各分科会（経営政策・福祉教育・生活地域分科会）での個別審査および全体会での総括質疑を経て、討論・表決を行いました。

10月20日の臨時会において、一般会計・特別会計・企業会計の計9会計の決算が認定されました。

一般会計の決算状況



特別会計の決算状況

	歳入	歳出
国民健康保険事業	107億1,116万円	106億7,727万円
公営墓地整備事業	2,023万円	2,023万円
駐車場事業	4,067万円	4,067万円
介護保険事業	84億4,754万円	83億7,880万円
後期高齢者医療事業	31億3,288万円	30億6,967万円

企業会計の決算状況

		収入	支出
市民病院事業	収益的	89億3,695万円	96億9,777万円
	資本的	9億8,721万円	14億1,029万円
水道事業	収益的	28億99万円	23億8,036万円
	資本的	1億6,955万円	13億8,097万円
下水道事業	収益的	30億1,191万円	27億668万円
	資本的	7億7,239万円	15億5,739万円

予算決算常任委員会では、各会計を厳しくチェックし、慎重な審査を行いました。
委員から出された意見の一部を紹介します。



委 = 委員 市 = 市長または市職員

全般

予算と決算の乖離に伴う財政収支見通し

委 実質収支は黒字であるが、令和6年度の当初予算額と決算額において大きな乖離が見られた。今後10年間の財政収支見通しで約93億円の収支不足が見込まれる現状をどのように理解すればよいか。

市 当初予算は財政調整基金を取り崩す予算編成であったが、国からの地方交付税の増などにより、結果として取り崩さない決算となった。今後、予算編成や収支見通しの精度向上や的確な精査に努め、財政運営の信頼性を確保していく。また、市民への適切な情報提供にも配慮したい。



歳入

固定資産税の増収と今後の見通し

委 増収の要因と今後の見通しは。

市 メガソーラー施設の設置による償却資産税収の増及び土地・家屋の評価替えにより、約2億5,000万円増加した。太陽光発電施設の償却年数は法令で17年と定められ、年に6%弱の償却率で徐々に下がるため、税収は急減とはならず、毎年1,000万円から2,000万円の減収になる見込みである。

森林環境譲与税の活用

委 森林環境税は令和6年度から市民1人当たり1,000円課税されているが、国からの森林環境譲与税はグリーン・クリーン基金への積立より森林整備や危機管理目的の伐採など事業として市民に還元すべきでは。

市 年度内に事業予算化できない分を後年の事業のため基金に積み立てたものだが、本税の周知も進んだことから地域から里山や集落整備への活用についての要望が増えつつある。令和8年度予算において、基金の活用も含めた予算措置を検討したい。

多世代交流館の利用促進

委 他施設ほど認知されておらず比較的施設に空き状況が多いが、今後、周知方法の工夫により稼働率を上げることで収入増を見込めるのでは。

市 現在、主に市ホームページにより周知しているが、SNS発信や他の媒体利用を含めたさまざまな選択肢の中で効果的な方法を引き続き検討していく。



歳出

婚活支援事業及び企業等と連携した出会い・結婚支援事業

- 委 当該事業の実績と課題は。
- 市 婚活支援事業は、市商工会のイベントに補助し、3組のカップルが成立した。企業等と連携した出会い・結婚支援事業は、結婚への意識を3階層に分けてイベントを計4回開催し、平均年齢36.2歳とターゲット層の参加があり、継続的なつながりの仕組みも構築できた。より多くの参加者確保が課題であり、市内企業への案内、インフルエンサーによるSNS発信等で周知を図りたい。

地域活動への支援

- 委 まちづくり協議会に対する、今後の地域活動推進に向けた支援の考え方は。
- 市 現在19地区にまちづくり協議会があり、残り1地区も立ち上げ準備中である。しかし、担い手不足は各団体の共通課題であり、負担軽減等の支援が必要と考えている。また、地域特性に沿った解決方法を見出せるよう、地域の実情を踏まえた「三田市協働のまちづくり基本指針」の改定作業をしており、今後も地域活動の支援に取り組んでいく。

就労継続支援B型サービスの複数事業所利用

- 委 他市のように複数事業所の利用ができず、選択の幅を狭めている。早期に改善すべきでは。
- 市 相談支援事業所連絡会を開催し、事業所と協議した経過がある。複数事業所の利用は、利用者にとってメリット・デメリットはあるが、今後、市の現状を踏まえ、相談支援事業所の意見も参考に利用者の知識及び能力向上につながるよう実現に向け取り組みたい。



障害者の就業相談支援事業

- 委 令和6年度の障害者雇用促進法改正により企業の障害者雇用義務及び責任が強化されたが、企業への周知や働きかけは。
- 市 法改正後の法定雇用率も踏まえ、就業を希望する障害者に対しては、障害者就業センターやハローワークと連携し、企業の紹介など雇用につながる取組を進めている。また、障害者への合理的配慮の提供が民間事業者にも義務化されたため、商工会等を通じてパンフレットの配布などの啓発を実施している。

ハローワーク



高齢者運賃助成事業

- 委 令和6年度の高齢者運賃助成券利用率が50%以下であるが、利用率向上のための取組は。また、現状の利用率を踏まえ、郵送による通知の必要性についての考えは。
- 市 利用率の向上は課題であり、現在進めている当該制度の見直しの中で検討している。また、新規及び未利用対象者に対して制度を周知する目的から、毎年度、市民への通知は必要と考えるが、制度見直しの際に案内方法についても示していきたい。

スクールカウンセラー活用事業

- 委 令和6年度のスクールカウンセラー配置は、小学校10校、中学校8校に各1名であるが、十分な相談対応体制か。
- 市 令和6年度から、配置時間数や配置人数等の増による充実相談件数の増加に対応している。今後も状況を注視し、柔軟に対応したい。

野外活動センター再生プロジェクト

- 委 サウンディング調査で「施設の老朽化により民設民営は難しい」「公設民営である指定管理スキームが最適」等の意見がある中で、公募方針を民設民営とした理由は。
- 市 サウンディング調査や市民アンケート結果、再生プロジェクト検討委員会の意見を踏まえ、市民が利用しやすい利用額設定など総合的に判断した結果、持続可能な手法として一定の条件を付した民設民営による公募が最も妥当との結論に至った。



安全なさんだの食材等活用の学校給食

- 委 安全なさんだの食材として、どのような三田産食材を学校給食に活用しているのか。
- 市 JA兵庫六甲の三田野菜・産直の会学校給食部会より、農業使用等の環境負荷を低減するみどり認定を受けた食材の提供を受けている。玉ねぎや白菜等、市で大量生産される野菜が多いが、黒豆、母子茶葉、三田ポーク等、さまざまな特産品を食育に活用している。



特別会計

新三田駅前駐車場（駐車場事業）

- 委 駐車場使用料の実績額が年々増加している理由は。また、今後、稼働率からさらに増加する余地はあるのか。
- 市 駐車料金が近隣の民間駐車場と比較して安価であることに加え、指定管理者による施設清掃や設備保守管理の充実など、利用者にとって満足度の高い環境が利用増加につながっている。今後も稼働率に関わらず、積極的な利用促進に努めていく。

認知症カフェ（介護保険事業）

- 委 市内の認知症カフェは4件と少ないが、現状と支援内容は。
- 市 現在、市内開設は4件であるが、一部の民生委員・児童委員による試験的な取組や、認知症サポーター養成講座受講者で結成したボランティア団体から、将来的に認知症カフェの立ち上げ支援を始めたい旨の声があるため、今後、開設件数の増加を期待している。市としてはカフェ開設時に上限3万円以内で備品や広報用印刷物等の現物支給による支援を行っている。

企業会計

外来患者数の動向（市民病院事業）

- 委 「断らない救急」を掲げ救急の受け入れ率は上昇しているが、病床稼働率は70%以下で外来患者数は減少している。要因と対策は。
- 市 病床稼働率は、令和5年度66.5%、令和6年度69.9%、直近の令和7年8月には約75%まで上昇しており、脳神経外科医不足の解消によって救急外来の断り率も低い水準で推移している。救急外来の受け入れ、市内及び近隣医療機関からの紹介患者の増、コスト削減の3本柱により、経営改善をさらに進めていきたい。

マンホールトイレの整備（下水道事業）

- 委 令和6年度における整備内容と今後の整備目標は。
- 市 令和6年度末までに市民センター、総合福祉保健センター等の市内公共施設10カ所で整備が完了し、今後は小学校などを対象に順次整備を進める予定である。また、地域防災計画では、指定避難所へのマンホールトイレ設置が定められており、すべての避難所での整備を目標にしている。